

国土交通大臣 石井啓一 様

2017年 月 日

各交通機関に「携帯電話・スマホ電源オフ車両」を設けるよう指導してください

東京都新宿区西新宿3-5-1 2トーカン新宿709 鳥影社内

「携帯電話・スマホ電源オフ車両」を求める会

代表 古庄弘枝

携帯電話やスマートフォン（以下スマホ）など、電磁放射線を発する機器の爆発的普及によって、電磁放射線が充満する公共の交通機関である電車・地下鉄などに乗れない人が増えています。電磁放射線に暴露すると、頭痛・めまい・動悸・皮膚疾患などを引き起こす電磁波過敏症（EHS）の人は年々増え続け、実に、日本人の3・0～4・6%の人（約300万～460万人）がEHSの症状を訴えています（早稲田大学応用脳科学研究所「生活環境と健康研究会」の疫学グループによる調査・2016年発表）。

これらの人は、安心して公共交通機関を利用することができません。また、埋め込み型医療機器の装着者も混雑時などは、命が危険にさらされる状態となります。さらに、電磁放射線によって、最も悪影響を受けるのは、幼い子ども・赤ちゃん・胎児です。

携帯電話やスマホから発せられる電磁放射線は、2011年に世界保健機関（WHO）の専門組織である国際がん研究機関（IARC）によって「発がんの可能性があると、正式に評価された物質でもあります。

だれもが、公共の電車や地下鉄に、身の危険を感じることなく安心して乗車できるよう、全国の交通機関に最低1車両以上は「電源オフ」車両を設けることが緊急に求められているのです。

#### <要望項目>

各交通機関に「携帯電話・スマホ電源オフ車両」（パンタグラフのない車両に）を1車両以上設けるよう指導してください。

氏名	住所（都道府県から）

（注）同じ苗字・同じ住所の場合も、省略せずに、正確にお書きください。

（一次集約2017年8月31日 最終集約2017年12月31日）

<署名用紙の送り先> 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-5-1 2トーカン新宿709 鳥影社内 「携帯電話・スマホ電源オフ車両」を求める会